

身体表現論

2単位 3年(前期, 集中)
中村 久子・教授/人間文化学科

【授業目的】 身振りからはじまり、マイム、舞踊などの芸術表現に至るまでの身体の動きが発信する内容とそれらを受け入れる文化との関係について取り上げ、身体の動きをとおしてコミュニケーションをはかるノンバーバルな世界について考えることを目的としている。

【授業概要】 身体の動きによるコミュニケーションから身体の動きによる芸術作品(自己表現)まで、ノンバーバルな世界について考える。

【履修上の注意】 特になし。

【到達目標】 1. 身体の動きとコミュニケーションについて理解する。

【授業計画】

1. 身体は容れ物か?
2. 身体観について
3. 身体技法について
4. 身振りとコミュニケーションについて I
5. 身振りとコミュニケーションについて II
6. 身体表現の歴史 (1) 身体表現と神の存在について
7. (2) 娯楽としての身体表現
8. (3) 自己表現の手段としての身体
9. 舞踊を構成する要素
10. 芸術としての舞踊 I
11. 芸術としての舞踊 II
12. 舞踊作品の鑑賞法 I
13. 舞踊作品の鑑賞法 II
14. 舞踊作品の鑑賞法 III
15. まとめ
16. レポート提出

【成績評価】 本授業は講義形式で行うが、授業中に行う課題レポートの提出と、期末レポートの結果による評価を併用して行う。

【再試験】 行わない

【教科書】 教科書は使用せず、授業中にプリントを随時配布する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219465>

【連絡先】

⇒ 中村 (3120, 088-656-7209, nakamura@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (前期) 火曜日12時~ 13時)

【備考】 本年度開講せず